



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高 2019

読売新聞 令和元年10月16日(水)

議会の広報紙について意見やアイデアを発表する生徒ら(丹波市の氷上西高校で)



議会広報 生徒がアイデア

丹波市 氷上西高で意見を聴く会

議会が発行する広報紙に若者の感性や視点を取り入れようと、丹波市議会は15日、県立氷上西高校(青垣町)で、生徒から意見を聴く会を開いた。

2017年から市内の3県立高で順に開き、今回は広報広聴委員会の議員6人が訪問。生徒会や公務員志望の14人と、3グループに分かれて話し合った。

過去1年の議会だよりに目を通し、この日に臨んだ生徒側からは「発行されていることも知らなかつた。高校でも配つて」「写真を多用して読みやすく」「イラスト・漫画を入れては」とアイデアが出た。

市議会では、年4回の定期会後に議会だより「たんぱりんぐ」を発行し、一般質問の質疑や、委員会審議の内容を詳報。これまで高校生の意見を参考に、議員の川柳を載せたり、議員名に読み仮名を入れたりと改善を加えてきた。

近藤憲生・議会広報広聴委員長は「若い人たちの新鮮な考えを聴けた。意見を参考に、読みやすい内容を目指す」と講評した。